

# 新市長・新議員誕生

## 一票の重み

### 受け止めて。



一月一日発足した南丹市の市長選挙および、市議会議員選挙が二月十九日に行われ、初代市長に中川圭一氏が選ばれたほか、二十六人の新しい市議会議員が誕生しました。

や議会に向けた準備など、慌ただしい毎日が続きました。寒の戻りとなった三月十二日の早朝、「市長事情聴取」との新聞報道が南丹市を駆け巡り、その夕方、テレビは中川市長が公職選挙法違反容疑で逮捕されたことを報じました。

初登庁後の執務室で中川市長は、決裁や来客の応対に追われたほか、各種団体の会議

も無い南丹市に起きたのです。翌十三日、うっすらと雪化粧した市役所の回りには、朝

早くから報道関係者が、市の動向を注視していました。市役所では全職員に対して、「動揺することなく平常の業務に精励するように」との指示が総務部長名で出されたほか、朝礼を行い職員らに平静を呼びかけました。

この日は、予定されていた議会の予算特別委員会に先立ち、今後の議会運営について協議されました。また、参与や部長らは、市政運営についての緊急会議を行いました。夕方五時から議長は記者会見、五時半からは、教育長のほか参与や部長ら八人が今後の市政運営について記者会見に臨みました。この中で、高橋議長は「予算審議に全力を傾注したい」と述べたほか、参与を代表して奥村参与が「住民サービスを下下させることのないよう業務を進めたい」と市政運営に向けての姿勢を示しました。

また、二日後の十五日には、弁護士を通じて中川市長の意向確認を行い、市長職務代理者に國府正典参与が指名されました。

として就任した國府正典参与は、「中川市長が公職選挙法違反容疑で逮捕され、同日、市役所が京都府警の自宅搜索を受けました。このたびの事態により、市民の皆様は大変ご迷惑とご心配をおかけしたことにつきまして、心より深くお詫び申し上げます。今後は、市職員全員が気持ちを引き締め職務に専念し、業務に遅滞が生じないように努め、各参与の協力を得ながら、職員一丸となつてこの難局を乗り越え、市役所の信頼回復に取り組んでまいります。これからも、職員には住民サービスに支障が出ないよう取り組んで欲しいと思っております」と述べ、全職員にも通達しました。

さらに、三月二十二日、弁護士を通じて中川市長が、「一身上の都合により、市長職を辞職致します」との辞職届とともに、「この度の不祥事により『市政の混乱』並びに市民の皆様にご迷惑をお掛け致しました事、心よりお詫び申し上げます。一日も早い市の正常化を願いますと共に一市民として今後は市の発展の為努力致します」と直筆で